取扱説明書

SGI形埋込み形照明器具

保管用

yamada

LEDダウンライト

（天井埋込み専用・防雨型・軒下対応・人感センサ付）

ご使用になられる前に必ずお読みください

YA5－001

この取扱説明書には取り付け方や電球の交換方法、お手入れの仕方などご使用にあたり重要な事柄が書いてあります。
この取扱説明書を大切に保管して、お手入れなどの際にご利用ください。

お客様へ　：この器具の取り付け工事は必ず電気工事店（有資格者）にご依頼ください。
一般の方の工事は法律で禁じられています。
工事店様へ：工事が終わりましたら、この取扱説明書を必ずお客様にお渡ししてください。

■仕 様

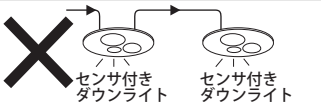
品　名	適合ランプ	取付可能天井厚	適合電線	適合電圧	消費電力
DD- 31 76-L DD- 31 77-L	ﾊﾟﾅｿﾆｯｸ製LD A 7L- A 1 ×1 灯(電球色相当)	5～35㎜	VVF ｹｰﾌﾞﾙ φ1.6・φ2.0 単線	AC100V （±6％）	6.9W

この取扱説明書のマークについて

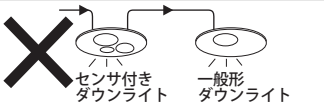
⚠ 警 告　説明書中の「警告」は人身事故の原因となる危険を示します。
⚠ 注 意　説明書中の「注意」は器具破損の原因となる危険を示します。
❗　このマークのついている説明文は、必ず守ってください。
⃠　このマークのついている説明文は、行ってはいけない禁止事項です。

施工上の注意

◎このセンサ付きダウンライトと他のセンサー付ダウンライトの点灯状態を連動させることはできません。
※屋内用及び内玄関器具とは接続しないで下さい。
※蛍光灯高力率器具は接続出来ません。



点灯状態を連動させることはできません。



点灯状態を連動させることはできません。

⚠警告

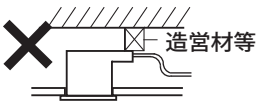
❗ 取り付け方向が指定されている器具は、取扱説明書および本体表示にしたがって、正しい方向に取り付けてください。
★指定以外の方向に取り付けると、火災や感電、器具落下による「けが」の原因となることがあります。

❗ 電源の送り容量は最大で6A で照明器具専用です。必ず6A 以内で使用してください。
★最大容量を超えて使用すると端子部の異常過熱による火災の原因になる場合があります。

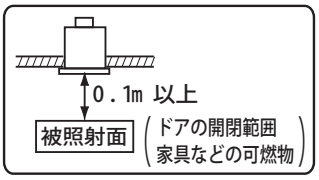
❗ 端子台に差し込むケーブルは必ずVVF φ1.6 またはφ2.0 の単線のケーブルで真っ直ぐな線を使用してください。
★指定以外のケーブルや曲がった芯線、汚れた芯線の使用は接触不良による火災や感電事故の原因となります。

❗ 器具の開口面と照射する物(被照射面)との距離は0.1m 以上離して設置してください。
★被照射物の変形や、焼損事故の原因となります。

❗ 器具の取付部以外の外郭(可動範囲を含む)が、天井内の造営材や空調ダクトなどの設備または屋内配線の電線ケーブルに触れないように施工してください。
★異常加熱による焼損事故の原因となります。

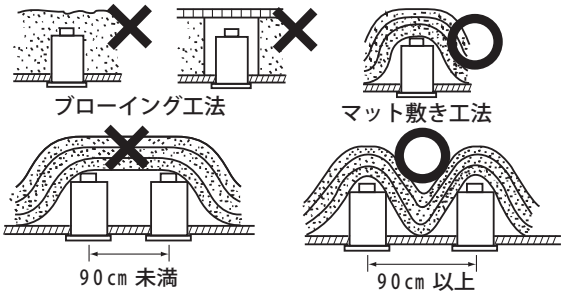


❗ LED 光源を長時間直視すると目を傷めることがあります。
★十分ご注意ください。



⃠ 防滴型・軒下専用器具です。雨のかからない屋根の軒下用で使用し、浴室など湿気の多い場所では使用できません。
★感電事故や漏電の原因となります。

⃠ 天井埋込み専用です。壁面など天井以外の場所や傾斜天井には設置できません。
★異常過熱による焼損事故の原因となります。



SGI形・SG形適合品です。
マット敷工法の住宅用人造鉱物繊維断熱材(JIS A 9521)のロールタイプまたはバッドタイプで断熱施工された天井で熱抵抗値6.6 ㎡･K/W 以下の天井で使用できます。
ブローイング工法、特殊な断熱施工された天井には使用できません。
器具取り付けの際は、施工された断熱材の種類と熱抵抗値をご確認ください。
★指定以外の断熱施工された天井に取り付けると異常過熱し、火災の原因となります。

器具と器具の間は90cm 以上離して取り付けてください。
★異常過熱し、火災の原因となります。

⃠ 温度の高くなるもの（ガスレンジやエアコンの吹出し口など）の近くに設置しないでください。
★異常過熱による火災の原因となります。

⃠ 器具の改造や構成部品の変更はしないでください。
★感電や漏電の事故、故障の原因となります。

⚠注意

❗ AC100V 専用器具です。必ずAC100V （定格電圧±6％）の電源を使用してください。
★指定の電圧より高い電圧で使用すると、過熱し火災の原因になることがあります。
★定格電圧(100V)以外で使用した場合、器具寿命が短くなることがあります。

❗ この器具は周囲温度5℃～35℃の中で使用してください。
★過熱して発煙や火災、ユニット寿命短縮の原因となります。

⃠ 調光器(ライトコントロール)との併用はできません。
★不良点灯や調光器、照明器具の故障の原因となります。

使用上の注意

⚠警告

光源LED を長時間直視しないでください。
★目を傷めることがあります十分ご注意ください。

必ず指定された電球を使用してください。
★不適合な電球を使用すると異常過熱によって焼損事故の原因となります。
そのまま無理に使用続けると、器具の故障や火災の原因となることがあります。

濡れた手で触らないでください。
★感電の原因となります。

器具の下面を布などで覆わないでください。
★過熱して、発煙や発火の原因となります。

器具の改造、部品の組み替えはしないでください。
★感電や漏電などの事故、故障の原因となります。

ドライバーなど異物を差し込まないでください。
★感電事故の原因となります。

⚠注意

照明器具には寿命があります。設置後、通常のご使用で8～10年後には外観に異常が無くても内部劣化が進んでおります。点検・交換をお勧めします。※通常の使用条件とは周囲温度30℃以下、年間3000 時間点灯です。(JIS C8 105-1 解説による)周囲温度が高い場合・点灯時間が長い場合は寿命が短くなります。

温度の高くなるもの(ガスレンジやエアコンの吹き出し口など)の近くに設置しないでください。
★異常過熱による、カバーの変形や火災の原因となります。

カバー・フードのある器具でヒビの入ったカバーや一部が欠けたカバーは使用しないでください。
★カバーの破損、落下の原因になります。

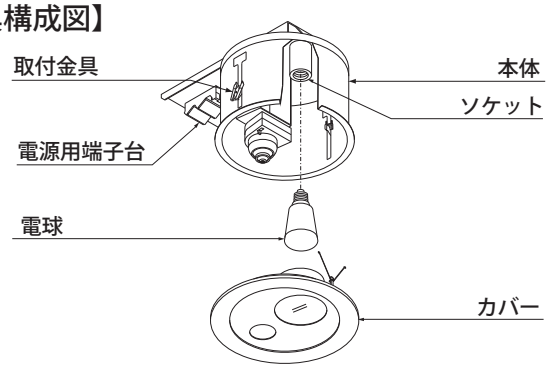
殺虫剤やカビ取り剤などの薬品をかけないでください。
★変色や材料の変質によるヒビ割れなどの原因となります。

点灯中や消灯直後の電球、器具の内側には触らないでください。
★火傷の原因となります。

各部の名称

(説明図は、一部を省略抽象化した図です。)
(不足している部品があった場合には、お買い上げ店または山田照明サービス受付窓口までご連絡ください。)

【器具構成図】



【付属品】

取付金具……2個

E26 パナソニック製LED 電球……1個

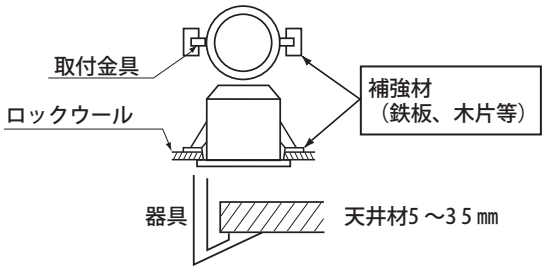
取扱説明書(本書)……1枚

人感センサ取扱説明書(別紙)……1枚

保証とアフターサービスについて(別紙)……1枚

取り付け場所の確認

⚠警 告 器具の取り付けは、説明書に従い確実に行なってください。
★取り付けに不備があると、器具の落下による「けが」や火災、感電事故の原因となることがあります。



ロックウールなど軟らかい材料を使用している天井に取り付ける場合には、必ず取り付け金具と天井材の間に補強材(鉄板、木片等)を入れてください。
★補強材を入れないと枠と天井の間に隙間ができる原因となります。

取り付け可能な天井厚は『5㎜ ～35㎜ 』です。
★指定の厚み以外の天井には取り付けができません。

■器具を取付ける前に

器具の性能を確保するため、設置場所は十分検討の上決定してください。
◎壁スイッチ1つにつきセンサ付きダウンライト1台でご使用ください。
※1つの壁スイッチで2台以上のセンサ付きダウンライトを取付けると、同時に連続点灯に切り替わらない場合があります。
◎検知エリアを考慮して設置してください。
●高さは3m 以内に設置してください。
●検知エリア内に障害物がある場所への設置はお避けください。
●点滅の激しい場所でのご使用は、ランプの短寿命となりますのでお避けください。

■次のような場所には取付けないでください。

★検知しなかったり、誤動作、故障の原因となります。
◎大理石など反射の強い床面のある場所
◎風などでよくゆれるのれんや、植物などがある場所
◎エアコンの吹出し口の近く、吹出し口に対抗する場所
◎ガスレンジや暖房器具の上など急激な温度差のある場所
◎他の光源に近い場所(他の光源までの距離が40cm 以内)

取り付け方　⚠注 意　必ず電源を切ってください。感電事故の原因となります。

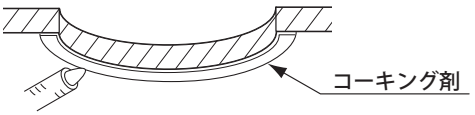
⚠警 告 器具の取り付けは、説明書に従い確実に行ってください。
★取り付けに不備がありますと器具の落下による「けが」や火災、感電事故の原因となることがあります。

●器具を取り付ける前に
・器具重量に十分耐えるよう取付部の強度を確保してください。
・カバーを本体からはずしてください。

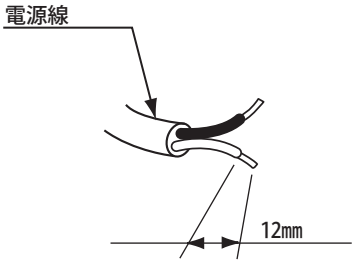
1．天井に埋込み穴を開けます。

埋込み穴寸法

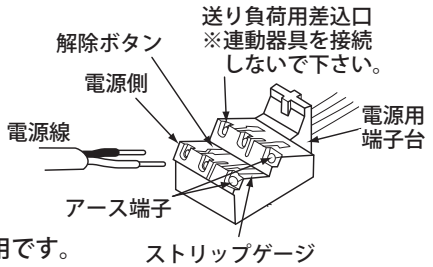
2．取付面の処理
凹凸のある天井で、取付面と本体の間にすきまが発生している場合は、
コーキング剤で天井面を平面とする。

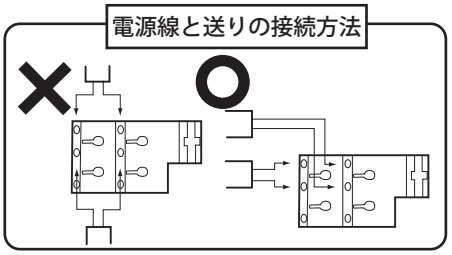


3．電源線を接続します。
①電源線の被覆を剥ぎます。



②電源線を電源用端子台のゲージ（12 ㎜）に合わせます。
③電源線を電源線差込穴に差し込みます。
※電源線をはずす場合は、ドライバーの先で解除ボタンを真っ直ぐ押しながら
引き抜いてください。
④アース線をアース端子に差し込みます。

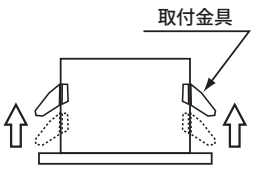




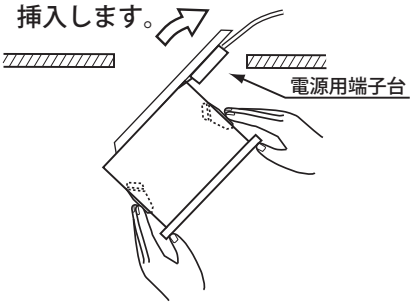
4．送り負荷の接続
・電源の送り容量は最大で6 A で照明器具専用です。
必ず6 A 以内で使用してください。
・送り負荷の接続は、送り負荷用差込口を使用し、電源の接続と同様に行ってください。
※送り負荷用差込口と、送り先の連動端子へは接続しないでください。

⚠注意 端子台に差し込むケーブルは必ずVVF　φ1.6 またはφ2.0の単線ケーブルで真っ直ぐな線を使用してください。
★指定以外のケーブルや曲がった芯線、汚れた芯線の使用は、接触不良による火災や感電事故の原因となります。
この器具にはD 種(第3 種)接地工事を行ってください。
★アースが不完全な場合は、火災や感電事故の原因となります。

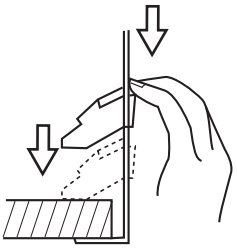
5．本体を天井に取り付けます。
①取付金具を上に
ずらします。



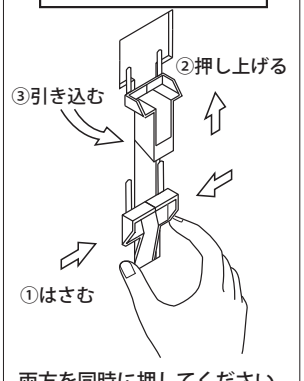
②取付金具を押さえながら
電源用端子台側から天井内に
挿入します。



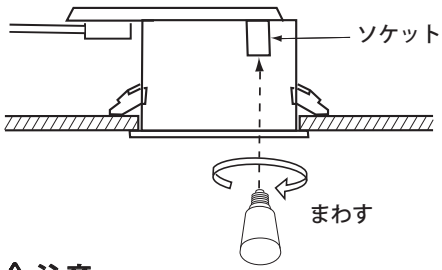
③枠を天井面に押し
当てながら取付金具を
引きさげます。



取付金具のはずし方
（器具方向調整の場合）

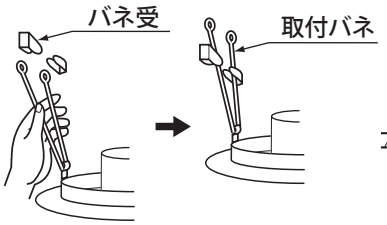


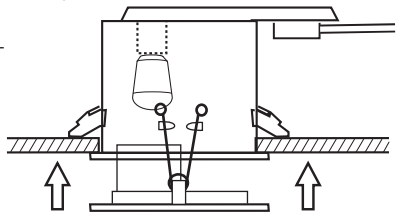
6．電球をセットします。
電球をソケットにねじ込みます。



⚠注意
電球は乱暴に扱わないでください。
★電球が割れて「けが」をする恐れがあります。

7．カバーをセットします。
取付バネを本体のバネ受に引っ掛けてから、
カバーを水平に押し上げて取付けます。





⚠注意
取付バネは確実にセットしてください。
★引っ掛けが不完全な場合、落下する恐れがあります。

スイッチ操作

壁スイッチにて「ＯＮ－ＯＦＦ」操作を行います。
（センサ機能については、別紙の「人感センサ取扱説明書」をご覧ください。）

お手入れについて　　⚠注 意　必ず電源を切ってください。感電事故の原因となります。

●こまめに清掃を：照明器具や電球が汚れていると、暗くなり、しかも電気代は変わらないので不経済です。
定期的に清掃しましょう。暮れの大掃除の際には照明器具も清掃しましょう。

●人感センサーの再調整が必要です：今まで検知していた場所でも、検知し難い場合は、検知部を清掃し再調整してください。

⚠注 意

●電球の交換やお手入れをするときには、必ずスイッチを切ってから取りかかってください。
★感電の事故の原因となります。

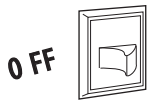
●スイッチを切った直後の電球は熱くなっています。絶対に素手で触らないでください。冷えてから交換するか、または
ハンカチやタオル等を使って交換してください。
★火傷の原因となります。
●濡れた手で触らないでください。　**★感電事故の原因となります。**

●電球は乱暴に扱わないでください。　**★電球が割れてけがをする恐れがあります。**
●適合電球以外の電球は使用しないでください。表紙の「■仕様」欄を確認し、正しい電球をご使用ください。
★不適合な電球を使用すると、不点灯や点灯不良、異常発熱などによる事故、故障の原因となります。
●シンナーやベンジンなど揮発性の薬品やクレンザーなどは使用しないでください。
★器具に傷をつけたり変色や変質の原因となります。

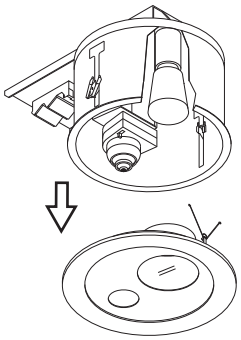
◆ランプの交換

●LED ランプの光源寿命(※)は、40,000 時間です。(照明器具の寿命とは異なります。)
※光源寿命は、点灯しなくなるまでの総点灯時間または、全光束が点灯初期の70％ に下がるまでの総点灯時間の
いずれか短い時間を推定したものです。

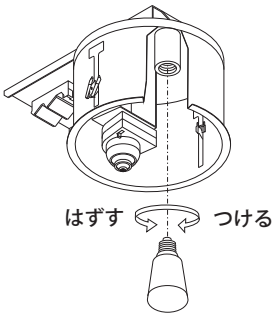
1. スイッチを
切ります。



2. カバーを
はずします。



3. 下面から手を入れて電球
を交換します。



■取り外し：左へ回す。
■取り付け：右へ回す。

⚠注 意

●電球は高温になりますので、点灯中・消灯
直後は触れないでください。
★火傷の原因となります。
●適合電球以外は、取り付けできません。
必ず器具に表示されている電球をご使用
ください。
**★異常過熱などによる事故、故障の原因と
なります。**
●電球のガラス部を強くねじらないでくだ
さい。
★電球が割れて「けが」の原因となります。

◆お手入れのしかた

1. スイッチを切ります。
2. 柔らかい布に石けん水を浸し、よく絞ってから汚れを拭き取ります。
3. 汚れを落とした後、洗剤分を拭き取ります。
4. 最後に乾いた布で、水分を完全に拭き取ります。

■こんな時には

ご使用中の器具に異常を感じたときには、直ちにスイッチを切ってここに書かれている事柄を確認してください。

スイッチを入れても点灯しない。	電球は確実にセットされていますか。電球が切れていませんか。 新しい電球と交換してみてください。
電球がすぐ切れてしまう、または その他点灯不良になる。 （チラツキ、立ち消えなど）	●天井内の断熱材・遮音材は器具から離して設置されていますか。 （この器具は断熱材・遮音材で覆っての使用はできません。）
殺虫剤などの薬品をかけてしまった。	スイッチを切り、水に浸した布を固く絞って、薬品を充分拭き取ります。

■アフターサービスについて

ご使用中、器具が普段と違った状態になりましたら直ちに使用を中止し、**器具の品名**（器具本体のラベルでご確認ください。）
故障の状況、ご使用期間をご確認の上、お買い上げいただきました販売店もしくは別紙の山田照明サービス受付窓口にご相談ください。